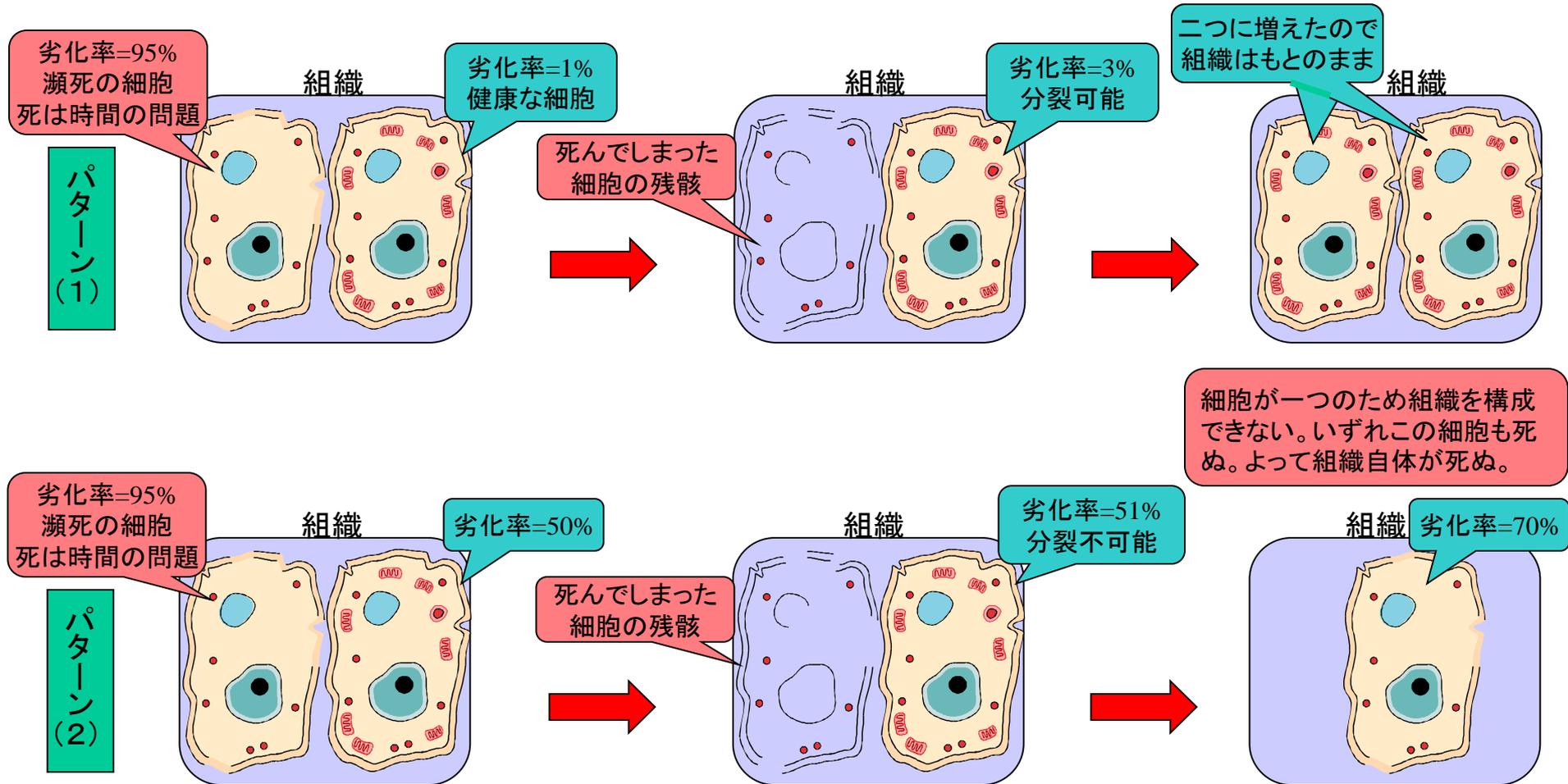


細胞の再生

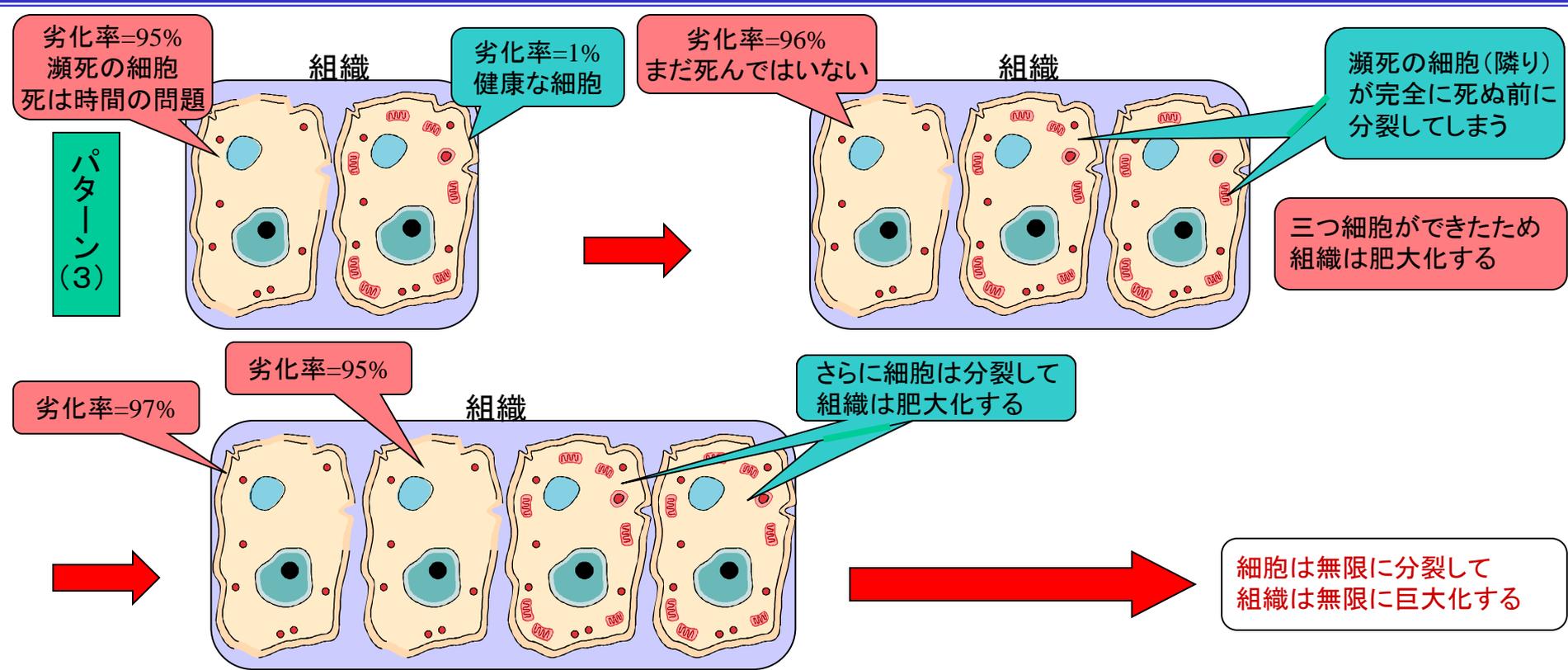
話を簡単にするため、たった2個の細胞からなる組織を考える。細胞は時間と共に劣化する。劣化が進むと細胞は死ぬ。それを劣化率という数値で表すでしょう。

誕生直後、細胞は劣化がまったくないものとして劣化率を0パーセント。劣化率が100パーセントになると細胞は死んだものとみなす。また劣化率が50パーセントを上回ったとき、細胞はもはや分裂して増えることが出来ない状態になる。ただまだ死んではいないものとする。

二つの細胞のうち一つが死にかけた場合どうなるか。以下の3つのパターンがある。



細胞の再生



生物がもし死なないとしたら、生物を構成している細胞が無限に分裂して、生物の体を無限に巨大化させるしかない。そのためにはこの宇宙のすべてのものを食べ尽くさなければならない。宇宙の物質は有限であるから、いずれにしてもそのようなことは不可能である。すなわち、いかなる生物個体も死を免れ得ない。

●補足

生物は遺伝子DNAの情報が破壊されなければ、新たに(遺伝的に同じ)生物を再生できる。いわゆるクローン人間である。ただし一旦死んだ人間を生きかえらせることは不可能である。事故によって体がバラバラになって死んだ人間の一部の組織からDNA情報を取り出し、そこから死んだ者と同じ人間を作り出すことができる。しかしそれは本当に生き返ったのではない。生きかえるとは、その事故に遭い、なおかつそこから生還することであり、再生された人間(同じ遺伝情報を持っているだけ)には事故の痕跡(本人にとっては体験と言うべきか、つまり記憶も含まれる)は一切ない。